

獣害対策について

町長 仕組みを整理し駆除環境作りを検討

山田

6月4日の経
済建設常任委
員会で5月28日現在の有害鳥獣の出没状況について報告があり、異、豊岡地区にも出没しているとのことで、北部地区の新幹線工事の発破等により熊等の行動範囲が変化していると推測している。近年アライグマの出没も増加傾向にあり、今後の被害の対策について何う。

①ヒグマの捕獲檻の数とアライグマの捕獲檻の数、鹿のくくり罠の数はそれぞれどのくらいあるのか。②アライグマの罠が古く反応が悪いという話を聞

くが、更新と増設対策の考えはあるか。

③生産現場では鹿の被害で著しく苦勞している。対策の電気柵の設置と駆除が考えられるが、昨年の実績数と今後の更なる対応策は。

④被害対策協議会を通じて猟友会に駆除を委託しているが、猟友会の足並みが乱れていると聞いており、対応策を農林課で検討しているが進展していない。

①ヒグマの捕獲檻3基、アライグマの箱罠については今年度新たに購入した18基を合わせて55基、鹿のくくり罠は今年度購入した20個を合わせて35個今年度予算措置されたものはすでに購入し所有されている。

町長

①ヒグマの捕獲檻3基、アライグマの箱罠については今年度新たに購入した18基を合わせて55基、鹿のくくり罠は今年度購入した20個を合わせて35個今年度予算措置されたものはすでに購入し所有されている。

②現在古い罠については、

都度調整等を行いながら使用してきたところであるが今年度購入した罠については蓋の仕様の違う2種類の罠を9基ずつ計18基としており、今年度の結果を次年度以降の参考にしていく考えである。31年度についても捕獲頭数など状況を考慮し補充について今後検討していきたい。

③29年度の実績は34万9400円10人分であった。今年度についても前年同様の予算を計上している。鹿捕獲の実績としては14頭捕獲に係る補助として北海道・町分として合わせて13万6000円となっている。

④今年度についても例年と変わらず町と猟友会と有害鳥獣駆除業務委託契約を4月1日に締結している。町としては俱知安町鳥獣被害防止計画に

基づいた今後の有害鳥獣駆除に支障をきたす事のないよう、町・ようてい農協俱知安支所・ようてい森林組合・俱知安警察署・猟友会とで組織している俱知安町鳥獣被害防止対策協議会の対応策として、鹿の駆除に限り猟友会のみならず現在猟友会に所属していない個人との委託についても拡大することによって駆除対策の強化を検討。今後も鳥獣被害防止計画の見直しや経費に対する予算措置等を構成団体と協議し進めていく。



山田 勉 議員



ヒグマの捕獲檻



アライグマの箱罠

一般質問 山田 勉